

野菜を盗まれた？！



駐在所こぼれ話

南瀬高駐在所管内は、国道209号線を中心に自然豊かな田畑が広がる農村地域です。

とある時期、駐在さんは、頻繁に発生する農家さんの野菜泥棒事件解決の為、田畑の警戒を強化していました。

そんな中、いつもパトロール中に近所の畑で見かけるおばあちゃんが駐在所を訪ねてきました。

おばあちゃんは、「直ぐに畑に来て欲しい、駐在さんにしか相談できない」と困っていました。

駐在さんは、おばあちゃんの困り果てた姿から

「これは、野菜泥棒の被害に遭ったのだろう、絶対に捕まえてやる」と思い、急いで被害届などの準備をして現場に急いで向かいました。

そして駐在さんは、おばあちゃんの畑に残された

犯人に繋がる手がかりを探しながら、おばあちゃんを尋ねました。

するとおばあちゃんは、申し訳なさそうに、畑に埋まった作物を指さして「このカブが抜けて困っています。」と一言。

駐在さんは、思いがけない事件の幕切れに困惑しながらも、すぐにおばあちゃんのカブを引き抜き事件解決。

話を聞くと、おばあちゃんは、90歳を超えてもなお、一人暮らしをしながら畑仕事をしているとのこと、育てたカブの収穫ができず、困っていたところ、パトロール中の姿をよく見かけていた駐在さんに頼ることにしたということでした。

その後、おばあちゃんの息子さんからお礼の電話を頂き、高齢のおばあちゃんを助けたとして周囲からの駐在さんの株も上がったようでした。



柳川駐在所れんじゃ

